

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	本川越駅前通線					継続			
コード	69	-	23	-	02	-	00	予算事業名	本川越駅前通線
担当部署	建設部	街路課	街路用地・街路建設	予算事業コード	会計 10	款 08	項 04	目 04	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	都市計画法
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築	個別計画等の名称	
施策	1	道路交通体系の整備		
細施策	2	地域の活動を豊かにする幹線道路の整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	道路及び道路施設を利用する通行人と、道路沿線に居住する住民に対し歩行者の安全確保、交通渋滞の緩和、良好な住環境の形成をもたらしたい。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	道路予定地の用地を取得し、用地買収後、道路工事を施工する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		0	0	13,000	178,351	260,300	
事業費	A	0	0	4,566	149,547	260,300	105,900
	B	0	0	17,760	31,080	11,840	13,320
総コスト(C=A+B)		0	0	22,326	180,627	272,140	119,220
正規職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	2.40人	4.20人	1.60人	1.80人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	49,400	123,700	32,950
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		0	0	22,326	131,227	148,440	86,270

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	用地取得率	%	0.0	0.0	25.3	82.2	道路予定地の取得率
成果	整備率	%	43.0	43.0	43.0	43.0	道路の整備率
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		道路が順次、整備されて良好な道路環境及び住環境が形成されつつある状況である。今後、更に事業の推進を図っていく必要がある。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
一部において事業に対する未同意者がおり、今後、引き続き事業に対する協力が得られるよう努めていく必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	良好な道路環境及び住環境が形成されず、魅力ある快適なまちづくりが図れない。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
良好な道路環境及び住環境を形成するため継続して執行していく。	